

土岐市の文化財展

祭り と 信仰

この地で暮らした人々の祈りの形

災い被い給え!
福もたらせ給え!



2020 12/4 金 → 2021 2/23 火

【会場】土岐市美濃陶磁歴史館 第1展示室

【開館時間】午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

【入館料】[一般]200円(150円) [大学生]100円(70円) [高校生以下]無料

障がい者手帳をお持ちの方および介助者1名まで [一般]100円 [大学生]50円

* () 内は20名以上の団体料金

【休館日】月曜日、祝日の翌日、12/26～1/6

【出品協力】久尻神社、白鳥神社(柳野)、大性院、妻木八幡神社、土岐打囃子保存会、
白山神社(泉中瀬町)、八王子神社(細野)、本郷町、御幸町、八剣神社(肥田)

企画：公益財団法人 土岐市文化振興事業団

【写真】上から

湯立面「火の王」「水の王」(妻木八幡神社)、獅子頭(肥田・八剣神社)、八王子神社の獅子(細野区)、
陶製神像(久尻神社)、本郷の花馬(本郷町)、十王尊(御幸町)

*陶製神像以外は、土岐市指定文化財

土岐市美濃陶磁歴史館

TOKI CITY HISTORICAL MUSEUM OF MINO CERAMICS

〒509-5142 岐阜県土岐市泉町久尻1263番地 TEL.0572-55-1245 FAX.0572-55-1246

土岐市文化振興事業団ホームページ <http://www.toki-bunka.or.jp/history>

祭り
と
信仰

この地で暮らした人々の祈りの形



突帯文壺 経塚から出土した平安時代の壺
大性院蔵
土岐市指定文化財



十王尊のうち「奪衣婆」
江戸時代 御幸町蔵
土岐市指定文化財



陶製神猿
万延元年(1860) 久尻神社蔵

かつて、庶民の暮らしと信仰は一体のものでした。江戸時代の庄屋日記を読み解くと、様々な信仰が年中行事に組み込まれると同時に、突然降りかかる病氣や災害を払うために神仏へ祈る様子も記されています。また、毎年の秋祭りは一大行事で、花馬や神楽の奉納に加え、芝居や芸能も行われ、人々にとって最大の娯楽でした。そして、信仰の対象であり文化の中心的施設として、地域の神社は大切に維持されてきました。本展では、庶民の暮らしとともにあった信仰の形を、寺社に残る祭礼道具や奉納品などからご紹介します。

当地域の特色として、かつて秋祭りで行われていた花馬奉納があります。花馬は、陶磁器などの輸送に馬が使われた昭和30年頃までは市内各所で奉納が行われ、今でも神馬を飾った馬具が多く残されています。また、美濃焼産地としては陶製の奉納品が特徴的で、ユニークな陶製狛犬や神猿があります。物資輸送や人々の往来が盛んだった旧街道筋には、往時の繁栄を偲ばせる神社やお堂があり、住民が資金を出し合い、社殿の建て替えや仏像奉納が行われていました。

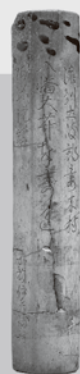
こうした地域の祭りや信仰の形からは、風土に根ざし、時代とともに変化する人々の暮らしが見えてきます。本展では、これまであまりご紹介することのなかった土岐市の人々の暮らしに目を向けつつ、懐かしい祭りの様子などもお楽しみいただきたいと思います。



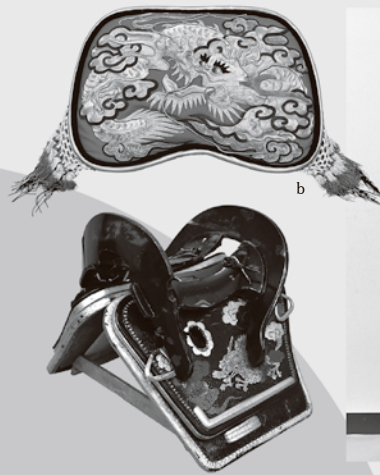
八幡神社の
流鏝馬
土岐市無形文化財



八幡神社社事礼式記
祭礼のお供えの図
明治元年(1868) 妻木八幡神社蔵



陶製八角経筒
正保3年(1646) 妻木八幡神社蔵
土岐市指定文化財



本郷の馬具 鞍
江戸時代 本郷町蔵
土岐市指定文化財



本郷の馬具 花馬飾り(a・b)
昭和10年(1935) 本郷町蔵

イベント情報 EVENT INFORMATION

同時開催 『美濃焼って何だろう? -1400年の歩み-』(第2展示室)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況により予定を変更する場合がございます。最新情報は当館ウェブサイトにてご確認ください。

土岐市美濃陶磁歴史館

TOKI CITY HISTORICAL MUSEUM OF MINO CERAMICS

〒509-5142 岐阜県土岐市泉町久尻1263

土岐市文化振興事業団ホームページ

TEL.0572-55-1245 FAX.0572-55-1246

<http://www.toki-bunka.or.jp/history>

【鉄道】名古屋駅からJR中央本線「土岐市駅」下車 徒歩約10分 【自動車】●中央自動車道「土岐IC」から約7分

●東海環状自動車道「五斗諸スマートIC」から約5分 ●東海環状自動車道「土岐南多治見IC」から約10分

交通のご案内

